

# 貴社の今期(2023年)の見通し、経営課題について

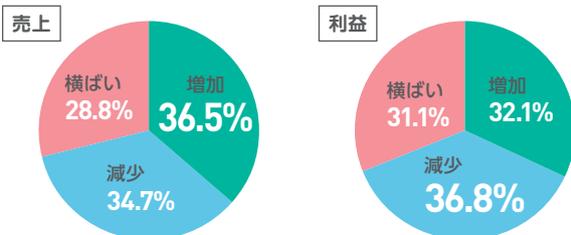
今後1年間の国内景気は、ポストコロナ(アフターコロナ)時代に向けた経済・社会システムの構築に対する動きが加速するものとみられております。賃上げによる消費マインドの改善、DXの推進、脱炭素化に絡んだ設備投資などは景気高揚の材料になりますが、悪材料として海外経済の減速、ウクライナ情勢の先行きの不透明感、エネルギー価格の高騰、人手不足、為替レートの変動などが懸念されます。そのような背景の中、今期の見通し、経営課題についてアンケートを実施いたしました。

調査時期 / 2023年8月16日~9月5日 調査対象企業数 / 1601社 有効回答数 / 496社 有効回答率 / 31% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

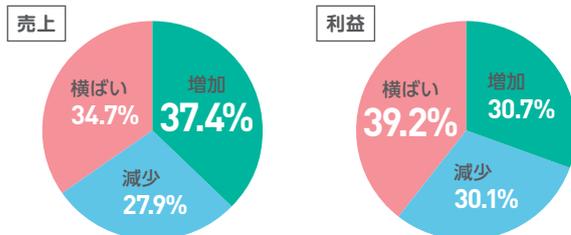
## Q1

貴社の今期決算予想を[売上]・[利益]の項目からお答えください。 ※それぞれ1つ選択

<コロナ前(2019年)と比較>

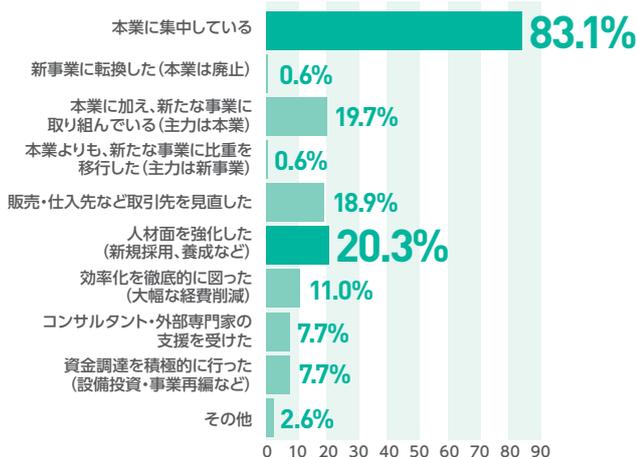


<前期(2022年)と比較>



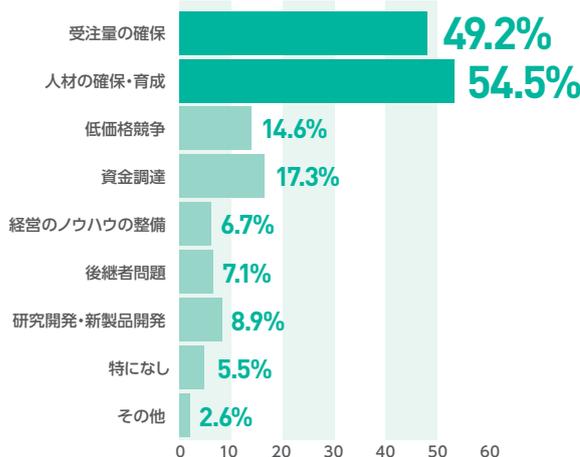
## Q2

新たな経済・社会システムの構築が加速するなか、貴社は今期どのような取り組み(予定を含む)を行っていますか。 ※最大3つ選択



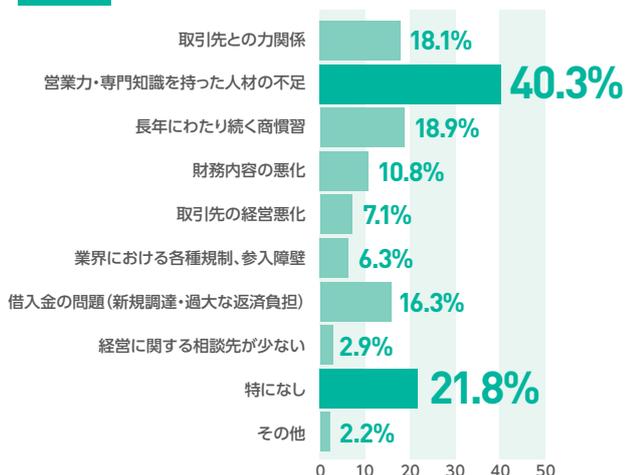
## Q3

目まぐるしく変動するビジネス市場の中で、貴社が直面する経営上の課題は何ですか。 ※最大2つ選択



## Q4

貴社が経営上の課題を解決する際に阻害要因となるものは何ですか。 ※最大2つ選択



## Q5

貴社は、今後の事業運営にあたり、取引金融機関(メインバンク)にどのような支援サービスを期待しますか。 ※最大3つ選択

